



## 今年の夏～私の誓い～



教 頭

今年の夏といえば、猛暑。いや、酷暑といった方がぴったりくるかもしれません。暑い、暑い夏でしたが、「あつい」といえば、やはりパリオリンピック・パラリンピックですね。日本の選手たちは、オリンピックで合計45個、パラリンピックで合計41個のメダルを獲得しました。メダルの有無にかかわらず、自分自身の限界に挑む姿には多くの感動をもらいました。愛媛県にゆかりのある選手の活躍も印象的でした。

しかし、うれしい話題ばかりではなく、心痛むニュースもありました。それはSNSで負けてしまった選手に対する誹謗中傷の事例です。「なぜ負けるんだ」とか「負けた後の姿がみっともない」といった心無い言葉を書き込む人がいました。その人たちは、なぜそんなことを書き込むのでしょうか。表現の自由や、人それぞれの意見や考えがあるという見方もありますし、批判ではなく叱咤激励だという人もいるでしょう。しかし、自分の価値観だけをもとに、読者をあおるような発言や選手を一方的に非難することは、違うように思います。選手たちは、食事の制限や遠征費の工面、トップレベルの力をキープするための血のにじむような練習、さらには期待に応えなければならないというプレッシャーを乗り越えて、オリンピック・パラリンピックの舞台に立っているのです。

テレビのあるCMで「そこに愛はあるんか。」というフレーズを耳にします。自分も完璧な人間ではないので、相手のすべてを理解する自信はありませんが、相手に対して感情だけの愛のない言葉を書き込むことはしてはいけないと、改めて感じた今年の夏でした。



## 校内造形会

図画工作科主任

今年も校内造形週間を設定し、東っ子たちも芸術の秋に親しみました。

1年生のテーマは「びりびり だいへんしん」です。ローラーで模様を付けた画用紙をびりびりに破り、どんな生き物に見えるか想像を広げ、一緒に遊んでいるところを楽しく絵に表しました。

2年生のテーマは「あったらいいなこんな家」です。「どんな家に住みたいかな。こんな家に住んでいたらどうかな。」などの想像を膨らませて、色や形を工夫しながら絵に描きました。

3年生のテーマは「ふしぎな乗りもの」です。身近なものがどんな乗り物になったら面白いかを自由に発想し、楽しく表現しました。

4年生のテーマは「不思議なつぼ」です。不思議なつぼの中からはどんなものが出てくるのか楽しく想像し、自分なりの表現の仕方を見つけて絵に表しました。

5年生のテーマは「グラデーションから思いを広げて」です。自分の好きな色を使って描いたグラデーションと自分が想像した建物を組み合わせて形や色などの造形的な特徴を捉えながら、工夫して絵に表しました。

6年生のテーマは「メタルレリーフ」です。メタルシートの削り方を工夫して作品を仕上げました。その金属のような質感を生かして、想像した世界を表現しました。

秋のひと時、子供も教師も、描くことつくることに夢中になれた、すてきでちょっと贅沢な時間でした。

参観日には、子供たちの作品をぜひ御覧ください。



# 生徒指導より

生徒指導主事

「SNSでやり取りしていた友達から、突然、『付き合いをやめる』と言われてどうしたらいいかわからない。」最近、子供たちからこんな相談が増えているそうです。相手に話を聞くと「分かりにくい言葉を送ってくるので、もう疲れた。」と。言葉のすれ違いが原因になっているようです。

SNSでの言葉のやりとりは、身振りや手振り、表情、声の調子等が伴わない分、直接会って話せば通じ合うかもしれないことでも、すれ違いが起きやすくなります。さらに、不特定多数の人に誰もが簡単に発信できるため、言葉にまつわるトラブルは、大人の世界でも少なくありません。

この状況を「言葉のインフレ」と表現したのは、歌人の俵万智さんです。言語学者の川原繁人さんとの対談で「こんな時代だからこそ私たちは言葉とは何かを立ち止まって考えて、言葉を使う技術を磨かないといけない」（『日本語の秘密』講談社現代新書）と訴えています。

言葉は本来、言葉を使う人の心の結晶です。しかし、文字は私たちの心の全てを表すわけではありません。顔が見えない相手にも伝わる、言葉の使い方が求められるのではないのでしょうか。

「結局、言葉は関係性と使い方」と俵さん。言葉の重みを知り、言葉を使う技術を磨いていきたいものです。

## 委員会活動の紹介

### 飼育委員会

東っ子の癒やしスポット「うさぎ小屋」を担当しています。命にかかわる仕事という責任感をもって、「マロン」や「オレオ」のお世話を頑張っています。昼休みには、うさぎと触れ合いたい人に集まってもらって、えさやり体験やだっこができる触れ合いタイムを実施しています。うさぎ大好き・生き物大好きな26名です。



### 栽培委員会

全校のみなさんが気持ちよく過ごすことができるように、そして、「花を自慢できる学校にしたい!」という思いをもって、毎朝、花壇の水やりや草引きをしたり、バケツの水をためたりと、日々の活動に一生懸命取り組んでいます。



### ボランティア委員会

全校のみなさんに募金などボランティア活動への参加を呼び掛けています。また、アルミ缶を回収したお金で、ソフトバレーボールなど東っ子のためになる物を購入しています。

学校、地域、そして社会へとボランティア精神の輪が広がるように取り組んでいます。

